

三井東庄
アルバリン[®]
顆粒水溶剤

アルバリンはアグロ カネシヨウ株式会社の登録商標です。

かき・樹幹塗布処理による害虫防除



粗皮を削って、薬液を塗布する、
新しい防除技術です。



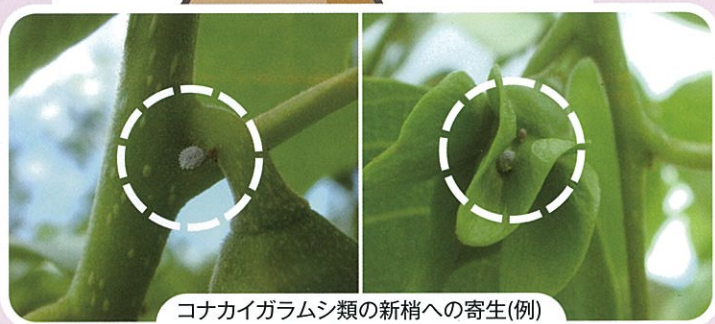
農閑期に防除作業が可能で、
周辺へのドリフト対策にも有効です。

かき・樹幹塗布処理とは？

1 樹の粗皮を剥いだ幹に、アルバリン顆粒水溶剤の高濃度溶液を塗布する防除技術です。有効成分が幹を通して浸透移行することで、葉の陰や蕾の隙間など、散布薬液のかかりづらい部位に寄生したコナカイガラムシ類にも有効です。

2 粗皮削りのタイミングで処理するため、農閑期に害虫対策ができます。

3 果樹園周辺へのドリフト対策にも有効な技術です。



かき粗皮削り

コナカイガラムシ類など樹皮間隙で越冬する害虫の防除のために、粗皮を剥ぐ物理的な防除技術が**粗皮削り(粗皮剥ぎ)**です。粗皮削りには、専用の刃物や、バークストリッパー(高圧水流を噴射する器具)を使います。



使い方

粗皮削り

- 根元付近の主幹～主枝を、50cm以上の幅で環状に(幹を一周)、粗皮を削ります。
- 粗皮削りの幅は広めのほうが、塗布しやすくなります。
- 根元で幹が分岐している場合は、各々の主枝を削ってください。
- 粗皮削りは、右の写真を参考に行ってください。



幅50cm以上、
環状に削る

縦線が見えなくなり、
白い部分がかすかに
見える位が目安



粗皮削りが不十分な例
(薄皮がうろこ状に残り、
縦線が見られる状態)

写真提供：福岡県農業総合試験場

Point ポイント

樹皮の縦線が見えなくなり、白い部分がかすかに見えるまで削ってください。



使い方 2 塗布処理

- ①アルバリン顆粒水溶剤を**1gあたり、水1ml**の割合で混合して薬液を調製します。**顆粒水溶剤に少しずつ水を加えながら、粒が残らなくなるまで、よく混ぜてください。**
- ②**刷毛(はけ)**を使って、調製した薬液を所定量塗布します。
※1樹あたりの薬剤使用量：20g～40g

薬剤	水	
20g	+ 20ml	→ 細い樹(樹周60cm未満)に塗布
40g	+ 40ml	→ 太い樹(樹周60cm以上)に塗布

Point ポイント

1. **幹にしっかり押し付けるように、はけで塗りこんでください。**
2. **所定の薬量を一度で塗りきれない場合は、重ね塗りしてください(あらかじめ幅広く粗皮削りしておく、重ね塗りの手間が省けます)。**
3. **薬液を泡立てるようにして塗りこむと、液垂れが少なく、効率的です。**
4. **幹の周囲全体に、均等に塗りこんでください。**
5. **分岐した主枝に塗布する場合は各主枝とも均等に塗ってください(その際も、1樹あたりの薬剤使用量を守ってください)。**



使い方 3 処理時期・処理量

処理時期

- 本技術の特性をより活かすため、**3月に粗皮削り・樹幹塗布を行ってください。**
粗皮削り後、樹皮は回復していくため、1週間以内の塗布をお薦めします。



※登録上の使用時期は**発芽前～発芽期**、樹幹塗布の使用回数は1回です。

処理量

- 樹周(幹の一周)60cm程度を基準に、**細い樹:薬剤20g/樹、太い樹:薬剤40g/樹**が目安。

三井東庄 **アルバゾン**® 顆粒水溶剤



かき・樹幹塗布処理 Q&A

- Q** この技術は、慣行の粗皮削りの道具があれば実施できますか？
- A** 慣行で粗皮削りをを行っている道具であれば、樹幹塗布の技術に活用いただけます。
- Q** 刷毛で塗布するということですが、どんな刷毛を準備すればいいのでしょうか？
- A** 市販の、塗装用の刷毛で差し支えありません。
- Q** 3月に塗布処理することなのですが、有効成分はいつごろ加害部位に到達するのですか？
- A** 新梢が伸長し、コナカイガラムシ類の越冬世代が新梢の加害を始める頃には、有効成分が新梢内に移行しています。

適用内容と注意事項

アルバゾン 顆粒水溶剤 (ジノテフラン 20.0% 含有)
適用害虫と使用方法 (かき・樹幹塗布抜粋)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コナカイガラムシ類	20~40 g/樹	発芽前~発芽期	1回	本剤 1g 当り水 1ml の割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。	4回以内 (塗布は1回以内、散布は3回以内)

上記のほか、かき(散布)、りんご、もも、ネクタリン、おうとう、なし、マンゴー、小粒核果類、ぶどう、かんきつ、かんきつ(苗木)、あけび(果実)、稲、ピーマン、トマト、ミニトマト、なす、とうがらし類、かぼちゃ、きゅうり、すいか、メロン、うり類(漬物用)、にがうり、まくわうり、ブロッコリー、セルリー、はくさい、キャベツ、レタス、非結球レタス、だいこん、かぶ、ねぎ、にんじん、しゅんぎく、ほうれんそう、チンゲンサイ、こまつな、みずな、ばれいしょ、だいず、えだまめ、さやえんどう、らっきょう、オクラ、茶、てんさい、しそ科葉菜類、きゅうり(葉)、きゅうり(花)、しそ(花穂)、しょくようほおずき、食用ミニバラ、食用カーネーション、食用パンジー、食用トレニア、食用ぎく、すいぜんじな、ふき、せり(水田)、せり(水耕栽培)、クレソン、いね科牧草、樹木類、花き類・観葉植物、水田作物、畑作物(休耕地)に適用があります。
 (平成22年7月21日付適用拡大内容を含む)

- 注意事項** (一部抜粋)
- 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきってください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
 - ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないでください。
 - ② 養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関(都道府県の畜産部局や病害虫防除所等)への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めてください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
 - 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記帳しましょう。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当てを受けてください。
 皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当てを受けてください。

三井化学アグロ株式会社
 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
 ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>

本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
 本印刷物は平成22年11月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。